

牛群検定通信 No50

◇ 検定成績表への肢蹄状況の表示 ◇

牛群検定システム高度化支援事業では、今年度から肢蹄の状況として、蹄冠と飛節のスコアを測定しています。現在、報告システムが十分でなく、エクセルデータで報告を頂いていますが、6月10日以後に発行された検定成績表に蹄冠スコアと飛節スコアとして表示することとしました。

なお、ハンディターミナルによる報告システムの構築についても、現在作業中です。準備ができ次第、お知らせします。

1 蹄冠スコアと飛節スコアの判定の見本写真

蹄冠と飛節のスコアは、見本写真をもとに測定します。見本写真はすでに配布しているところですが、当団のホームページからもダウンロード出来るようになっていきます。事業に参加していない地域の方でも肢蹄の状態が健康かどうか、見本写真と照らし合わせることは飼養管理上大変に有意義なことです。誰でもダウンロードできますので、ご利用ください。不明な時は当団まで連絡ください。

見本写真のダウンロード

インターネット「肢蹄スコアチェックしよう」で「検索」

問合せ T03-5621-8921 家畜改良事業団情報分析センター

2 蹄冠スコアの利用

蹄冠スコアは、蹄の状態を測定するもので、蹄葉炎や趾皮膚炎等の蹄病の目安となります。特に濃厚飼料の多給等によりルーメンアシドーシスが発生した場合に、蹄葉炎を併発することが知られています。これはルーメンアシドーシスによりルーメン内の微生物が死滅するとエンドトキシンという毒素が発生し、これが蹄の毛細血管に影響するものです。スコア3以上は注意が必要で、これ以上悪化しないように、削蹄や飼料設計を見直すなどの改善が必要となります。4以上になってしまった場合は、獣医師による治療が必要です。

検定成績表において、乳脂率が低く、P/F比が1.00以上の場合には濃厚飼料過多なので症状が現れる前に改善が必要です。

3 飛節スコアの利用

飛節スコアは、飛節周辺の被毛や皮膚の状態を判定するもので、飼養環境の快適さ（牛床等）の目安となります。やはりスコア3以上は注意が必要です。牛床の敷料が不足している場合や糞尿で牛床が日常的に汚れた状態の場合などスコアが悪化します。また、牛床の長さやカウトレナーなどが牛の大きさにあっていない場合なども原因となるので確認してみてください。

蹄冠と飛節どちらのスコアも生産性に大きく関与し、乳量・乳質の低下、繁殖性の低下を伴いますので、改善に努めてください。